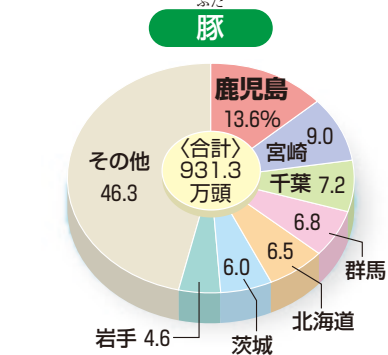
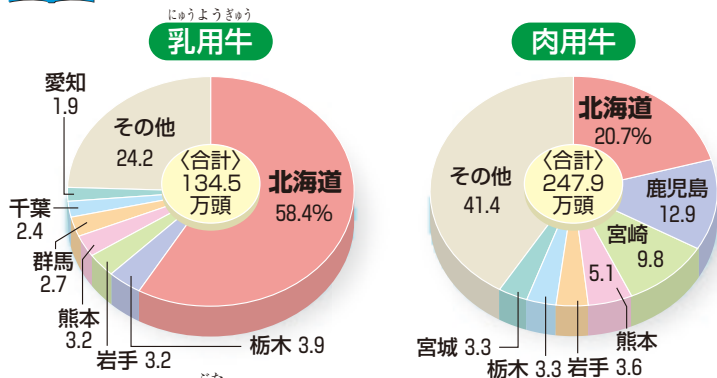


# 畜産のさかな地域

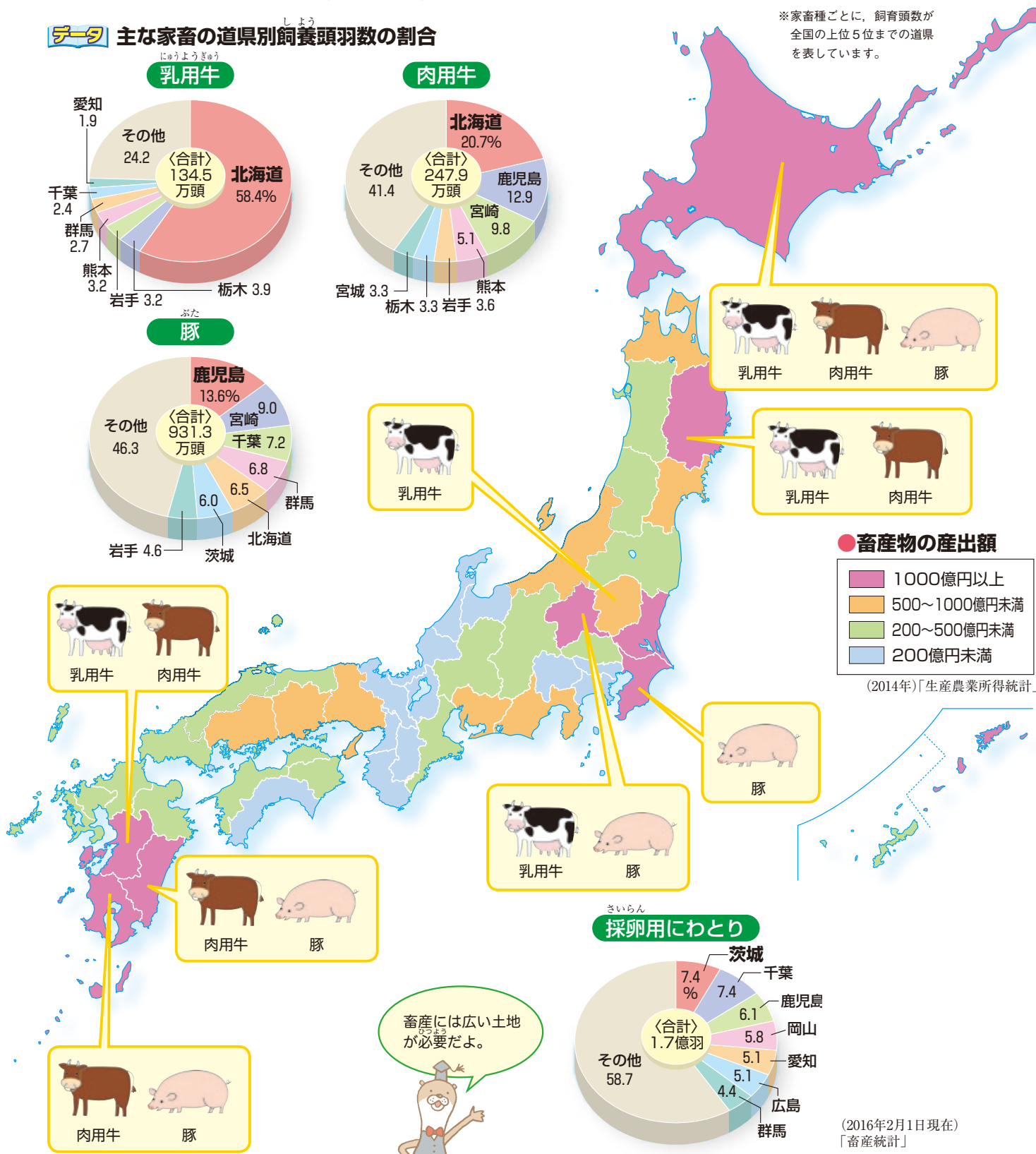
日本では、もともと家畜の利用は労働用に牛や馬を飼育し、そのふんを肥料にすることが中心でした。その後、食生活の変化に伴って肉や卵の消費量が増えたため、畜産が大きく発展しました。しかし、現在では、畜産農家の

高齢化と後継者不足が深刻な問題となっています。鹿児島県や宮崎県のように、企業によって大規模な経営が行われている所もあります。

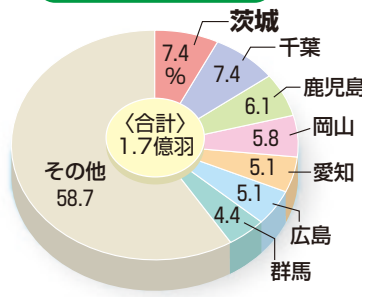
## データ 主な家畜の道県別飼養頭羽数の割合



※家畜種ごとに、飼育頭数が全国の上位5位までの道県を表しています。



## 採卵用にわとり (Egg-laying Chickens)



(2016年2月1日現在)「畜産統計」

